

令和4年度 高等学校段階の病気療養中等の生徒に 対するICTを活用した遠隔教育の調査研究事業 成果報告会

発表者：長野県教育委員会事務局

学びの改革支援課

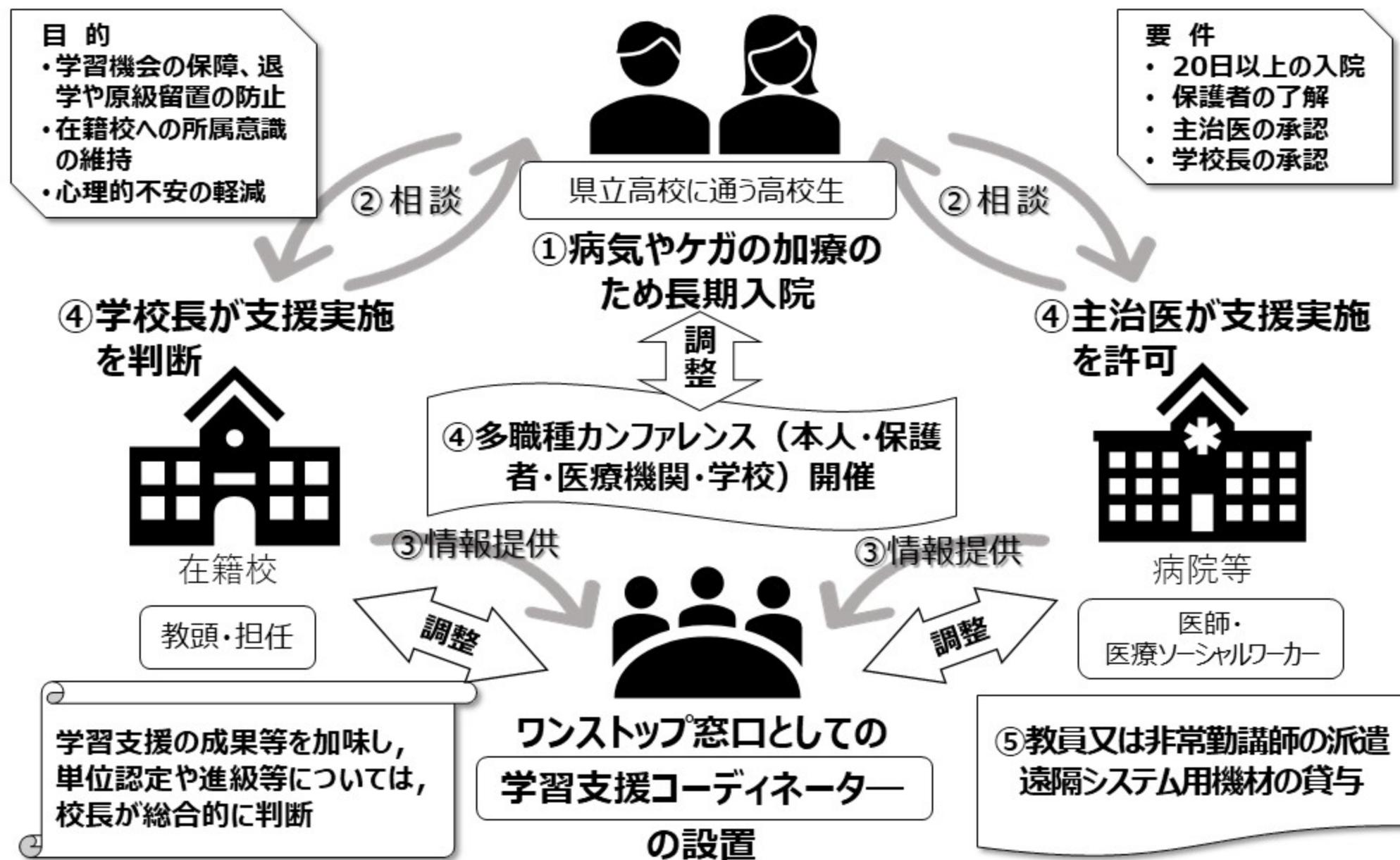
長野県教育委員会

Nagano Prefectural Board of Education

学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助



県立高校に通う高校生の長期入院時学習支援



(1) 令和3年度の取組と課題

1) 学習支援実践報告事例

- 3名に対して3校で支援。

2) 令和3年度の課題

- ① 学校に向けての啓発（教員の理解や意識改革がさらに必要。）
- ② 中学校・高校の生徒・保護者、医療機関に向けての啓発
- ③ 実施要綱の見直し
- ④ 自走に向けて

(2) 令和4年度の取組

1) 入院生徒の在籍校、医療機関及び教育委員会の支援体制の整備状況

○ 本県の学習支援についての実施要綱及び運用の改訂

* 主な改訂点

改訂前	改訂後
当該生徒の在籍校等の教員等を派遣し、教科指導をすることにより行うものとする。	遠隔教育システムを利用して学校での授業（同時・双方向）を受講することにより行うものとする。 = 教員等の派遣はなくてもよい
支援対象は、入院開始時の見込みとして概ね4ヶ月以内に復帰できることを目安とする。	入院期間については問わないが、事業が活用できる期間としては概ね4ヶ月間を目安とする。 = より長期の入院生徒も支援できるように
支援開始時に、主治医の診断書または意見書の提出する。	カンファレンス等で生徒が学習支援を受けることを主治医が承認した場合は、診断書または意見の提出は不要に。 = 経済的負担の軽減し、支援開始を早めるため



(2) 令和4年度の取組

2) 遠隔教育における教育支援の取組及び成果

① 教育委員会による支援

ア ICT機器等の貸出

- ・WiFiルーター…通信費も負担

イ コーディネーターの任用・配置

- ・県内3地区にそれぞれコーディネーター※を配置

※県立高校の元校長・元教頭

ウ 保護者、学校職員、医療関係者、福祉関係者等への普及・啓発

- ・全県教頭研修で関西学院大学丹羽登先生による講演
- ・県立高校に対して年2回「長期入院生徒実態調査」を実施
- ・中学校や病院に向けて、本事業に係るチラシを作成

エ 医療機関との連携

- ・カンファレンスへの参加と学習支援の依頼



(2) 令和4年度の取組

2) 遠隔教育における教育支援の取組及び成果

② 在籍校による学習支援

ア 同時双方向型授業の配信方法、教員の体制

- ・ Google Meet を活用し、教室に設置したタブレットを用いて授業の様子をオンライン配信
- ・ ホームルームも配信

イ 学習状況の確認方法、単位認定や評価方法

- ・ 出席を、授業の開始時、終了時に授業担当者が確認
- ・ 配信した課題への取組状況を評価
- ・ 定期テストを家庭や病院などで受査
- ・ 体育の実技を、動画視聴やレポートなどに置換

ウ オンデマンド型の学習支援の活用

- ・ 授業時間が診察やリハビリの時間と重なったり、急な体調不良のために授業を受講できない生徒について、配信授業を録画したものを、授業後に視聴

(2) 令和4年度の取組

2) 遠隔教育における教育支援の取組及び成果

③ 取組に対する成果

ア 支援した生徒数、学校数（1月現在）

- ・ 7名に対して7校が支援

イ 支援開始までの期間

- ・ カンファレンス開始や機器貸出までに数日から数週間

ウ 保護者、生徒の意見

- ・ 支援終了後のアンケートで回収

エ 医療機関、在籍校の教職員からの意見

- ・ 学習支援終了時のカンファレンスや報告書で集約

(3) 今後の課題

- 1) 支援経験校、支援経験病院以外への周知
 - ① 教頭研修などを利用して引き続き周知に努める。
 - ② 実際に行われた学習支援の方法を共有できるよう情報を収集し、蓄積する。

- 2) 令和5年度以降の取組継続方法
 - ① 令和4年度 of 取組の継続
 - ② 学校の状況に応じたICT機器を活用した授業案の提案
 - ③ 迅速に支援を開始する方法の研究